

# 鈴木優人で聴く

サントリーホール限定!!

## ウィーン少年合唱団オルガンとの特別プログラム!

「天使の歌声」と呼ばれ、世界中の人々に愛されているウィーン少年合唱団は、今から500年以上も前の1498年に誕生しました。この年、ハプスブルグ家出身の神聖ローマ帝国皇帝マクシミリアン1世が、ウィーンの王宮礼拝堂のために管弦楽団と聖歌隊を創設させました。その中に6人による聖歌隊があり、これがウィーン少年合唱団の原点となったのです。この王宮礼拝堂付属少年聖歌隊には、シューベルトや指揮者のリヒター、クラウスが、ハイドン兄弟はたびたび補充メンバーとして参加していました。

ともに活動した作曲家には、イザーク、モーツァルト、サリエリ、ブルックナーがいて、彼らのために作曲し、ブルックナーはオルガンで伴奏もしました。そして、現在も、ウィーン少年合唱団は、オルガン伴奏による王宮礼拝堂の日曜日のミサに出演しています。今回、サントリーホールで2日間だけ、オルガンを使用する特別コンサートが実現。ご出演いただく鈴木優人さんにお話をうかがいました。



www.Lukasbeck.com

「オルガンは楽器として『音楽の全体』が表現できるので、オーケストラのようなスケール感が味わえます」(鈴木優人)

—ウィーン少年合唱団との共演は、初めてでしょうか？

以前、ブルックナー組のみなさんと一緒にしています。クローズドのコンサートで、会場はサントリーホールでした。今回もサントリーホールで、Aプログラム、Bプログラムともに、前半で伴奏させていただけます。ハイドン組との新しい出会いがとも楽しめです。合唱にやってくる仕事や伴奏は頻繁にやっておりますので、今回のウィーン少年合唱団とのお話をいただいたとき、「ぜひやりましょう!」とすぐにお返事しました。

—少年合唱団とはいえ、彼らはプロの合唱団です。鈴木さんが同じプロとして、たとえば彼らから学びたいこと、彼らに教えたことなどはありますか？

—少年合唱団とはいえ、彼らはプロの合唱団です。鈴木さんが同じプロとして、たとえば彼らから学びたいこと、彼らに教えたことなどはありますか？

—少年合唱団とはいえ、彼らはプロの合唱団です。鈴木さんが同じプロとして、たとえば彼らから学びたいこと、彼らに教えたことなどはありますか？

—具体的に、一緒にいるときどんな感じでしたか？

とても統率が取れていて、先生(カペルマイスター)のおしきることになすぐに反応して、音楽的には直さなければいけないところは、すぐに直してくれると思いました。彼らはほんとうによく察知して、音の合わせがうまいなあ、という記憶があります。

—彼らの技術は素晴らしいですね。

—彼らの技術は素晴らしいですね。



www.Lukasbeck.com

あるんです。パイプの中も掃除してきれいになった、ということもあります。さらに、「リモート・コンソール」という言葉をご存知でしょうか?この仕組みが新しくなりまして、通常、メインのキーボードはオルガンの機構のそばにあります。ですが、それを舞台上に電気信号で繋いで、舞台上に鍵盤を置いて弾くことができるようにしたものが、これがリモート・コンソールなのですが、それが今回の改修で、とても良いものになったんです。発音のタイムラグの問題の解決につながるだろうと期待しています。サントリーホールでのクリスマスコンサートですべてに使ってみました。

—感觸は掴んでいますから。更に、舞台上では、みんなに近い位置で弾くことができますので、より室内乐的に互いの息づかいを感じながら演奏ができるでしょう。

—そもそも、リモート・コンソールも、ケースパイ・ケースで...

—そうですね。たとえばバッハの重厚な曲を演奏するような時は、通常の鍵盤前の位置がよい場合も多々あるわけです。でも今回は、ウィーン少年合唱団とのコミュニケーションを優先したいと思っています。彼らの近くで彼らの声を楽しみながら参加したいんです。

《裏面へつづく》

### 鈴木優人 指揮者/作曲家/ピアニスト/チェンバリスト/オルガニスト

1981年オランダ生まれ。東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。鍵盤奏者(チェンバロ、オルガン、ピアノ)として国内外の公演に多数出演。指揮者としてはこれまでバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)、九州交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団等と共演。NHK-FMの「古楽の楽しみ」にレギュラー出演。アンサンブル・ジュネシス音楽監督、調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。2017年11月にはモンテヴェルディ生誕450周年を記念し、歌劇「ボッパアの戴冠」を国際的に魅力に富む歌手陣で上演。2018年2月のBCJ定期演奏会では指揮者として「J.S.バッハ:ヨハネ受難曲」出演。 オフィシャルホームページ <http://suzukimasato.com/>



Marco Borggrevo

一般的観客からしますと、オルガンシートの座る位置が遠くて、姿が見えなかつたり、弾いているお顔が見えないのは残念です。

顔だけでなく、じつは脚がどれだけ忙しく動いているかということも、みなさん、ご存知ないですよ(笑)。作品によっては、こんな忙しいことしてたのね!と云われまします。上半身は動かさず、脚だけが動きますので、近くで見ないとわからないんですね。とはいえ、今回の演目は「足ペダルがオリンピックみたいな曲」はないですけれど(笑)リモート・コンサートがあれば、観客のみなさんとも距離がだいぶ近くなりますね。

さて、今回のウィーン少年合唱団との演目はぜんぶ異なる作曲家の作品です。フックス、ハイドゥン、モーツァルト、グノー……など。

とても面白いリストをいただいていきます。じつは私も初めての曲がいくつもあります。合唱の美しさが映える曲や芸術監督でもあるヴィルトさんが書かれた作品「慈悲—許し—内なる平和」などは、私自身も作曲をしますので、とても興味を感じています。また、モーツァルトの「汝により守られ」は、素晴らしい曲です。

みなさんがAプログラム、Bプログラム、どちらにいられても、その前半で演奏します。演奏会のはじめのほうで、オルガンの音色を楽しんでいただいで、気分を盛り上げるお手伝いをしてと思います。

高橋美佐(取材)

※鈴木優人さんには他にもオルガンの魅力など沢山語っていただきましたが、紙面の関係でウィーン少年合唱団との部分のみ掲載させていただきました。他の部分は追ってHPなどで紹介させていただきます。

# キヤノンマーケティングジャングループ創立50周年記念 ウィーン少年合唱団

## 2018年 東京公演スケジュール

<鈴木優人のオルガンで聴く 特別公演>

**5月3日(木・祝) [A] 14:00開演 サントリーホール**

**5月4日(金・祝) [B] 14:00開演 サントリーホール**

**6月14日(木) [A] 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール**

**6月15日(金) [B] 13:30開演 東京オペラシティ コンサートホール** アフタヌーン・コンサート・シリーズ2018-2019 前期Vol.2 [残席僅少]

**6月16日(土) [A]・17日(日) [B] 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール**

※6月の東京オペラシティ公演ではオルガンとの共演はございません。

### プログラム[A] 「ウィーン少年合唱団と動物の世界」

グレゴリオ聖歌: 来たれ、創造主なる聖霊よ  
ケルル: 「レジーナ・チェリ」より「サンクトゥス」、「ベネディクトス」  
ハスラー: 主に向かいて歌え  
フックス: サルヴェ・レジーナ ★  
M.ハイドゥン: アニマ・ノストラ ★  
シューベルト: ます  
シューベルト: 夜うぐいす  
ヴィルト: 慈悲—許し—内なる平和 ★  
J.シュトラウスII: 山賊のギャロップ  
J.シュトラウスII: トリッチ・トラッチ・ボルカ

-----

久石譲: となりのトトロ  
ロブレス: コンドルは飛んでいく  
中国民謡: ひばり  
童謡: ほたるこい  
メンデルスゾーン: 「真夏の夜の夢」より  
「ぼつぼつ模様の舌が二つのお蛇さん」  
ブーランク: 「小さな声」より「迷い犬」、「はりねずみ」  
プリテン: 「金曜日の午後」より「エイ・オー」  
コープランド: 町から猫を連れてきた  
ロッシニ: 猫の二重唱  
オーストリア民謡: カッコウ  
J.シュトラウスII: ウィーンの森の物語

### プログラム[B] 「ウィーン少年合唱団と世界の歴史・音楽」

グレゴリオ聖歌: あなたに向けてわが磔を  
ハスラー: 主に向かいて歌え  
クーブラン: 歡喜せよ  
カルダーラ: 私は生ける種なり  
J.ハイドゥン: くるおしく浅はかな心配は ★  
モーツァルト: 汝により守られ ★  
メンデルスゾーン: 主をほめたたえよ ★  
バッハ=グノー: アヴェ・マリア(グノー生誕200年記念) ★  
バーンスタイン: 主は私の羊飼ひ(チチェスター詩編)(バーンスタイン生誕100年記念)  
ディストラ: 我らに平安を与えたまえ  
ホーキンス: 映画「天使にラブソングを2」より「オー・ハッピー・デー」

-----

J.シュトラウスII: 千夜一夜物語  
ヴェルディ: 歌劇「マクベス」より「何をしていたの?教えて」  
ウェルナー: 野ばら  
フンバーディンク: 歌劇「ハンゼルとグレーテル」より「私は小さな眠りの精」、「夕べの祈り」  
ウズベキスタンの民謡: 水の女神  
岡野貞一: ふるさと  
中国民謡: ひばり  
ロブレス: コンドルは飛んでいく  
南アフリカ民謡: ホーヤ・ホー  
ホーナー: 映画「タイタニック」より「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」  
ヨーゼフ・シュトラウス: 水兵のボルカ  
J.シュトラウスII: 美しく青きドナウ

★オルガンとの共演曲目

◆休日料金 5月3日・4日、6月16日・17日  
S¥7,500 / A¥6,000 / B¥4,500  
(ジャパンアーツ夢倶楽部会員料金 S¥6,800 / A¥5,400 / B¥4,100)

◆平日特別料金 6月14日・15日  
S¥7,000 / A¥5,500 / B¥4,000  
(ジャパンアーツ夢倶楽部会員料金 S¥6,300 / A¥5,000 / B¥3,600)

5歳以上～20歳以下割引(6/15公演を除く) U20(S～B席) 一律 ¥3,000

※料金には消費税8%が含まれております。

【主催】ジャパン・アーツ / フジテレビジョン 【特別協賛】キヤノンマーケティングジャパン株式会社 【協賛】株式会社JM(6月15日のみ)

ジャパン・アーツぴあ (03) 5774-3040 www.japanarts.co.jp/wsk2018/